

東通中学校3年生 こども園ひがしどおりで保育実習



実習の様子

12月13・14日の2日間、東通中学校3年生が、こども園ひがしどおりで保育実習を行いました。

この実習は、家庭科の授業の一環で、子どもへの接し方を学ぶことを目的に行われ、生徒たちは、園児と粘土や手遊びをして一緒に遊んだり、給食を食べさせてあげたりするなど、実習を体験しました。生徒たちは、恐る恐る小さな子に接していましたが、園児たちは中学生のお兄さん・お姉さんと遊んでもらい大喜びの様子でした。

実習を体験した生徒からは「自分たちも、小さい頃に先生や家族から沢山お世話をしてもらっていたのだなと実感することができた」「久しぶりに、こども園に来て懐かしかった」等の感想が寄せられました。

『不安だったら学んでみよう！～食と放射能・放射線～』リスクコミュニケーション講演会



講師 大場 恭子 氏



講演会の様子

12月21日、東通村防災センターにおいて「第8回リスクコミュニケーション講演会（主催：東通村、協力：電気事業連合会、（一社）日本原子力文化財団）」を開催しました。

この講演会は、原子力災害が発生したときに、村民の皆さんが冷静に行動していただけるよう、原子力に関する様々な知識を習得していただくため開催しているものです。

今回は、原子力技術の社会的側面、放射能の知識・食と放射能等に幅広く深い知識をお持ちの「大場 恭子 氏（長岡技術科学大学 技学研究院量子原子力系 准教授、日本原子力研究開発機構技術主幹）」をお招きし『不安だったら学んでみよう！～食と放射能・放射線～』と題しご講演をいただきました。

村では、原子力発電所との共生による村づくりを目指し、今後も様々な取り組みをしていくこととしておりますので、ご理解とご協力をお願いします。